

《オンライン視聴者からの感想》

- ◆ 避難時的被害が有っている事を初めて知りました。
- ◆ 避難所での被害に付いては知っていたが、水俣でも被害があったとは知りませんでした。ショックでした。
- ◆ あらためて女性が 人権を無視【に等しい】されていたか気付かされました👏
- ◆ 避難所での 生活等 そうだ。そうだ。と 気づかされました。
- ◆ ジェンダー平等の意味が 運動の必要性が 少しわかりました。聴いたよかったです🙏
- ◆ 戦争や災害時寄り弱い立場の者へストレスを発散するのでしょうか？今起きているウクライナの避難民の映像をテレビで見ると暗澹たる思いに成ります。
- ◆ 「避難所での支援物資を貰うとき男性職員からは貰いにくかった…」との証言は分かります。熊本地震の時、避難所に避難していた私達の仲間が聞き取りをし、「大きいサイズの下着が欲しい」「生理用品が欲しい」「犬、猫の餌が欲しい」との要望を受け、水俣や出水で買い集め届けた事が有りました。
- ◆ 熊本市内の避難所では、生理用品を貰うのが恥ずかしいとの声から、女性トイレにナプキンを設置していた避難所も有ったと聞きました。
- ◆ 避難所が女性だけのスペース、区画が有れば良いのだろうけど…
- ◆ 避難所は一家族ごとのスペースを囲う、トイレやトイレの周囲を明るくする等の対策も必要では？
- ◆ 被災後の相談員や市職員のストレスは大変だと思う。その後のケアが本当に大切だとつくづく感じました。
- ◆ 3回の講演を視聴する機会を持って、凄くラッキーでした。
先月映画「我弱ければ矢島楯子」を見てきましたが、女性の立場は100年前と殆ど変わらないと言う事を強く感じ女性の地位が少しでも向上する様もっと声を挙げていかなくては。と強く感じました。
- ◆ 災害については、上司や相談員にも聴いてほしかった内容でした。
資料などでお伝えできればと思っています。
- ◆ 水俣でも実際に性被害があったことを知り大変ショックでした、同時に、私自身、どこか「よそごと」だと捉えていたのだと突きつけられました。性暴力を許さない「MeToo 運動」などには取り組んできていたつもりでしたが、その言葉に反して「他人事」「よそのこと」と思い込んでいたのだと思います。まずは、今後の性暴力被害を許さない取り組みについての意識が変わりました。また、「女性の視点」の重要性を再認識することができました。多くの事例を紹介していただき、体験することでしか分からない気づきを（それでもほんの一部だとは思いますが）知ることができてよかったです。例えば、「洗濯したものを干す場所に困る」などということは、当然のことのように事前に対策できそうなことであっても平時には「気づくことができない」事例のひとつではないかと思います。避難生活という非常時での困りごとを一つでも減らせるように、平時から「今が非常時だったら…」という視点も大事なことだと思いました。

オンライン講座で様々なことを教えていただきましたが、残念ながら人間は忘れやすいもの…。日常のあらゆることに追われ、その時々で、課題が変わり、いま気づけた課題への取り組みや考えも次第に薄れていってしまいます…。今回で松本先生の講座は最後とのことでしたが、機会がありましたら、今後もぜひ事あるごとにこのような企画をお願いしたいと思います。ありがとうございました！